

1 研究主題

情報社会に主体的に生きる力を育む教育の研究と実践
－教育の情報化の推進を通して－

2 教職員研修

(1) 大洲市教育研究所総会

- ア 日 時 平成 31 年 4 月 17 日 (水)
イ 場 所 大洲市民会館 大洲市立大洲小学校
ウ 内 容
(ア) 役員選出
(イ) 研究主題
(ウ) 活動内容について



(2) 視聴覚・情報教育主任会

- ア 日 時 令和元年 8 月 6 日 (火)
イ 場 所 大洲市立喜多小学校
ウ 参加者 16 名
エ 内 容
(ア) 「ICT を活用した授業改善」

愛媛県総合教育センター 谷山 伸司 氏
渡部 浩二 氏
松田 智也 氏

- ・ プログラミング教育の目的
- ・ 「scratch」を使ったプログラミング実習
- ・ 「micro:bit」を使ったプログラミング実習

(イ) 情報交換

3 成果と課題

令和 2 年度から小学校プログラミング教育が全面実施されることに伴い、教育センターの先生を講師としてプログラミング教育の研修を行った。内容としては、プログラミング教育の目的について学んだ後、実際に Web ページ上にあるビジュアル型のプログラミングの実技実習を行った。大洲市はハード面が遅れており、児童用コンピュータでビジュアル型のプログラミングは利用できない学校がほとんどといった現状があったが、今回は研修を行うために、「Google Chrome」をインストールし、先生方が実際にプログラミングを体験できるようにした。

情報交換では、具体的にどのようにプログラミング教育を進めるかということや、大洲市情報推進協議会で話し合われた、市内の小学校の児童用コンピュータがタブレット端末に入れ替えになる件などの話がなされた。

来年度は入れ替わったタブレット端末に慣れていくことと同時に、プログラミング教育も進めていかなければならない。各校の視聴覚・情報教育主任が率先して取り組み、市内、県内で情報共有を行い、校内研修等を通して、情報教育を進めていく必要があると感じた。